

兵庫県立大学COC事業 シンポジウム

尼崎のソーシャルビジネス ～この5年を振り返って～

2017年11月13日(月) 13:30～17:30 尼崎商工会議所7階701会議室

■日時

2017年11月13日(月) 13:30～17:30 (開場13:00)

■場所

尼崎商工会議所 7階 会議室
兵庫県尼崎市昭和通3丁目96
阪神尼崎駅より徒歩3分

■内容

○開会挨拶 稲村 和美 (尼崎市長)

○基調発表 (13:35～14:00)

「尼崎のソーシャルビジネスとCOC事業」

加藤 恵正

(尼崎地域産業活性化機構理事長・兵庫県立大学教授)

○パネルディスカッション (14:00～15:30)

・パネリスト

坂本 恵利子 氏 (こども作文教室「コトバの子カラ」主宰)

中原 美智子 氏 (株式会社ふたごじてんしゃ代表取締役)

長村 和美 氏 (一般社団法人女性の未来代表理事)

藤村 絵理香 氏 (nuts代表)

・コーディネーター

能島 裕介 (尼崎市参与・兵庫県立大学客員教授)

○対談 (15:40～17:10)

「生活広場WIZの社会貢献活動からソーシャルビジネスを考える」

・対談

打樋 弘 氏 (生活広場WIZ理事長・尼崎商店連盟会長)

二神 志帆 氏 (兵庫県立大学経営学部4回生)

池田 潔 (兵庫県立大学経営学部特任教授)

○閉会挨拶 高坂 誠 (兵庫県立大学副学長)

■参加費

無料

■対象

どなたでもお越しください。(定員160人)

■お申込

右の尼崎市尼崎大学・学びと
育ち研究担当までお申込みく
ださい。(先着順)

みんなの
尼崎大学

Univer City of Min'na Amagasaki

●基調発表



加藤 恵正 (尼崎地域産業活性化機構理事長)

兵庫県立大学減災復興政策研究科教授
慶應義塾大学経済学部卒。神戸商科大学大学院博士課程修了(経済学博士)。専攻は地域経済学、経済地理学、地域産業論。兵庫県、神戸市等の各種審議会でも委員等を務める。

●パネリスト



坂本 恵利子 氏 (こども作文教室「コトバの子カラ」主宰)

新聞社、編集プロダクション勤務を経て、フリーランスライターに。2014年、尼崎ソーシャルビジネスコンペに「作文力向上事業」で応募し、ファイナリストに。2015年、こども作文教室「コトバの子カラ」を、尼崎、伊丹にて開講。現在に至る。



中原 美智子 氏 (株式会社ふたごじてんしゃ代表取締役)

2010年、第2、3子で双子を出産。多胎育児に閉そく感や無力感が増す。その後、双子の自転車移動問題に直面。2014年に自身で2人の幼児が乗れる3輪自転車(ふたごじてんしゃ)の開発に成功。製品化を目指し2016年に法人化。



長村 和美 氏 (一般社団法人女性の未来代表理事)

結婚出産後、株式会社栄水化学のハウスクリーニング事業部店長として入社。一児の母として子育てをしながら、ワークシェアリング、時短勤務をはじめ、会社の環境整備の取り組みに関わる。2015年、一般社団法人女性の未来を設立。



藤村 絵理香 氏 (nuts代表)

尼崎生まれ、尼崎育ち。3児の母。結婚後、自身が企画、製作したハンドメイド商品を販売。子育て等において悩み、引きこもった経験から、平成28年、育児中の母親らの生きがい提供を目的とした日傘の製作、販売会社「nuts」を立ち上げた。

●対談



打樋 弘 氏 (生活広場WIZ理事長・尼崎商店連盟会長)

尼崎生まれ。関西学院大学卒業後、共栄市場(尼崎市大庄)で家業の練物店を継ぐ。阪神・淡路大震災で共栄市場が半壊、営業ができなくなる。平成9年、市場の店主たちと新たに組合を立ち上げ、食品スーパー「生活広場WIZ(ウイズ)」を開店。



二神 志帆 氏

兵庫県立大学
経営学部4回生



池田 潔

兵庫県立大学
経営学部特任教授

●お問合せ・お申込み

尼崎市尼崎大学・学びと育ち研究担当

TEL 06-4950-0387(平日 9:00～17:30)

FAX 06-4950-0173

E-mail ama-ucma@city.amagasaki.hyogo.jp

●主催 兵庫県立大学

●共催 尼崎市

こども作文教室「コトバのチカラ」

教室のコンセプトは、「キライからフツウへ」

「書く」を中心とした作文教室のほかに、「発話型作文教室」「体験型作文教室」を開講。「発話型」は、ボイスタレントの方と組み、「書く」「発表する」のどちらも伸ばすことを目指した教室。「体験型」は、実験、音楽など多彩な講師を招き、体験したことを文章に書いていく教室。

これから挑戦したいことは、絵本作りとキャンブツアア。「コトバ」を通して、見える世界を広げる。そこに、子どもや大人も巻き込んでいきたい。



一般社団法人女性の未来

2015年、一般社団法人「女性の未来」を設立。大学生、主婦へのキャリア支援や、企業向けの研修教育事業を展開。2017年、関西学院大学「ハンズオンインターンシップ」事業、尼崎市長期実践型インターンシップ事業において、企業側コーディネータを担当。2017年9月、学生服のリサイクル事業「さくらや尼崎店」をオープン。

子育て中のママたちが自分たちの都合に合わせて、パートタイムでお手伝い。制服を提供するご家庭もを提供を受ける子どもたちも、リユースを手伝うママ達もみんなが笑顔になる事業を展開。



生活広場WIZの地域貢献活動と池田ゼミでの実践

近年、ソーシャルビジネスの担い手の一つとして、企業のCSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)に期待が寄せられている。

尼崎市内の地域密着型食品スーパーである「生活広場WIZ」は、地元中学の部活動を応援するため、売上の一部を寄付しているほか、ゼミの提案により隣接保育園の園児が「はじめてのお使い」を行なう場を提供した。

ゼミでは、企業のCSRやCSVを活発化させていくことが重要との問題意識から、調査とそれに応える企画・実践的な取組を行った。



株式会社ふたごじてんしゃ

ふたごじてんしゃという会社は自転車屋さんではなく、多胎ママの「お出かけしたい」「外と繋がりたい」という気持ちをサポートする為の活動を実施している。SNSを活用し、多胎育児にとって有用な情報を発信。ふたごじてんしゃというツールを介して、試乗会や各種イベントへの出展を行い、ママ達が外出する為のきっかけを創出。

SNSやイベントの場にて、移動問題だけではなく、育児や生活全般に関する悩みの相談を受け、自身やその他のママたちの経験をおりませながら、その人に応じた解決策やアイデアを提案している。



nuts

アメリカ、ヨーロッパの年代が古く、希少価値が高いピンテージ生地を使った日傘の製造、販売を行う。

仕入れ、デザインはすべて代表の藤村が担当し、工房の製作スタッフには、地域の障害を抱えたお子さんのお母さんや、自身が重い病気をもつお母さん起用。日傘作りを通して、生きがいや、育児の悩みを共有しながら、デザイン性の高い商品を生み出している。

子育て中のお母さんなどを対象にしたものづくりのワークショップなども実施している。



兵庫県立大学COC事業について

平成25年から始まったCOC事業(「地(知)の拠点整備事業」)とは、文部科学省が国内の大学を対象とし、「地域社会との連携強化による地域の課題解決」や「地域振興策の立案・実施を視野に入れた取り組み」を支援する施策のことである。

それに採択された兵庫県立大学では、県内全域に広がるキャンパスと附置研究所等を活かし、6つのプロジェクトフィールド(地域資源マネジメント系、多自然地域再生系、産学公連携系、ソーシャルビジネス系、あわじ環境未来島構想系、地域防災・減災系)において、11の連携自治体職員・地域住民・地域活動団体などと連携して人材育成と多様な主体の活動環境の整備を進めている。